

治水

発行 全国治水期成同盟会連合会

東京都千代田区平河町 2-7-5(砂防会館内)
電 話 03(3222)6663 FAX 03(3222)6664
ホームページ <http://zensuiren.org/>
お問い合わせ zensuiren@k2.dion.ne.jp
編集・発行 下 川 順



写真提供は OB の伊藤様

目 次

阿武隈川河口部堤防復旧事業着工式について 国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所……………	2
旧北上川河口部堤防護岸復興着工式について 北上川下流河川事務所……………	5
長安口ダム改造事業起工式 国土交通省四国地方整備局那賀川河川事務所……………	9
全水連便り……………	12



写真-1 阿武隈川河口部津波遡上・被害状況

堤防高に 1.0 m を加えた T.P.+7.2 m の新たな計画堤防高で整備することとなりました。また、新たな堤防構造として、海岸に近い一定区間の堤防は、堤防天端や裏法面等を強化した、いわゆる「粘り強い構造の堤防」で整備する計画としています。

この堤防整備事業は、築堤延長約 4.7 km、水門と樋管の改築各 1 箇所であり、平成 27 年度の完了を予定しています。

〈図-2〉

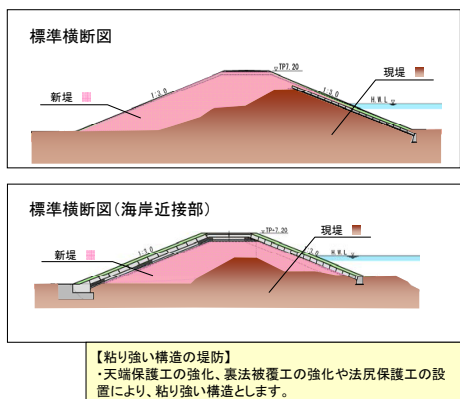


図-2 事業計画 (H27年度完了予定)

4. 阿武隈川河口部堤防復旧事業着工式

阿武隈川河口部の堤防整備が沿川地域の早期復興と、安全安心なまちづくりに貢献することを祈念し、岩沼市・国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所共催による着工式が、岩沼市新浜地区の河川敷において、平成 25 年 1 月 19 日に執り行われました。

当日は天候にも恵まれ、松下国土交通大臣政務官、山田治水課長、地元選出国會議員、井口岩沼市長をはじめ事業区域の地元代表の方々、関係機関、及び工事関係者約 40 名の出席を賜りました。

最初に東日本大震災により犠牲となられた多くの方々のご冥福を祈り黙祷を捧げ、国土交通大臣政務官と岩沼市長の挨拶、続いて来賓の祝辞をいただき、その後、仙台河川国道事務所長が事業概要説明を行いました。

〈写真-2、3〉



写真-2 国土交通大臣政務官挨拶



写真一三 事務所長による事業概要説明

挨拶等のなかでは、今回の事業区間の左岸直上流に位置し、震災発生の直前に概成した「寺島堤防」が、避難した住民約60名の方々を津波から救った状況も伝えられました。当地区の町内会長からの「寺島堤防に避難後、海と川から迫る津波を見た瞬間に、もうダメだという思いが頭をよぎった。堤防が丈夫で良かった。町内で犠牲者が出なかったのは寺島堤防のおかげで、大変助かりました。」という談話も紹介され、防災における

堤防整備の重要性が再認識されました。

〈写真－ 4, 5〉

最後に来賓者による鍬入れを行い滞りなく式典を終了しました。

式典に引き続き、当地域に伝わる「早股熊野神楽」が披露されました。毎年この神楽が奉納されている熊野神社は、仙台藩祖伊達政宗の命を受け、阿武隈川に接続する貞山運河（木曳堀）の開削や、旧北上川の改修等、地域の発展を支える治水事業に偉業を残す「川村孫兵衛」が再建立したと伝えられる社でもあります。この式典にあわせての演舞も感慨深いものがあると思いをめぐらせながら、事業の着工を祝いました。

今後は沿川自治体の復興計画とも整合を図りながら、早期の堤防整備による治水安全度向上を目指すとともに、地域の復興・発展を願い、本事業の推進に取り組んでいきたいと考えています。

〈写真－ 6, 7〉



写真一四 寺島堤防位置



写真一五 寺島堤防避難状況



写真一六 鍬入れ



写真一七 神楽（獅子舞）演舞

旧北上川河口部堤防護岸復興着工式について

～ 石巻市の復興まちづくりと共に ～

北上川下流河川事務所

1. はじめに

宮城県石巻市に位置する旧北上川河口部は、無堤部であったことから東日本大震災の津波により甚大な被害をうけたものです。これをうけ北上川下流河川事務所では、旧北上川河口部の抜本的な復旧復興事業を石巻市の復興計画と連携を図り、平成 27 年度の完成を目指し取り組んでおります。

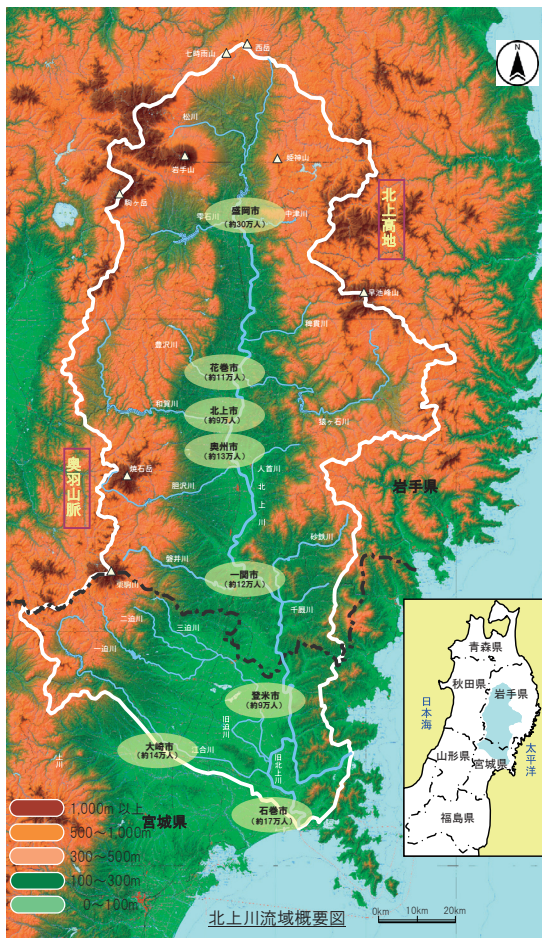
この度、地域のご理解と護岸工事の準備が整ったことから、「旧北上川河口部堤防護岸復興着工式」を北上川下流河川事務所と石巻市の共催で平成 25 年 1 月 27 日（日）に開催いたしました。

北上川は、岩手県御堂を源流として、二つの河口（追波湾と石巻湾）を持つ流路延長 249 km の一級河川です。

北上川は、元々は石巻湾に注いでおりましたが、明治以降の新川掘削により、現在の流路となったものです。

北上川は古くから、伊達藩の物流拠点として明治中期以降水産業の集積が進み川湊として栄えた歴史があります。現在でも、宮城県北部の地域は、北上川から農業・工業用水等恩恵を受けているほか、地域の風土文化等、地域との関わりが深い河川となっております。

2. 北上川の概要

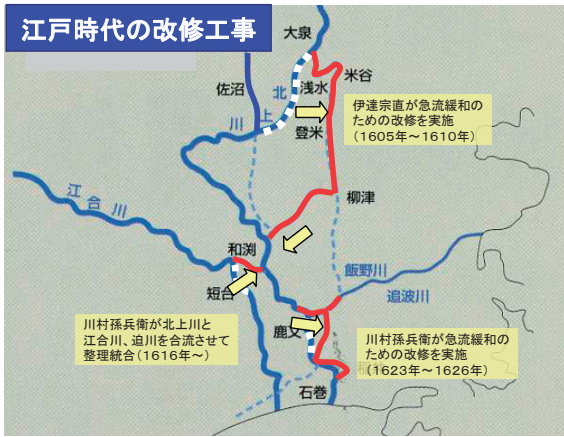


旧北上川河口部

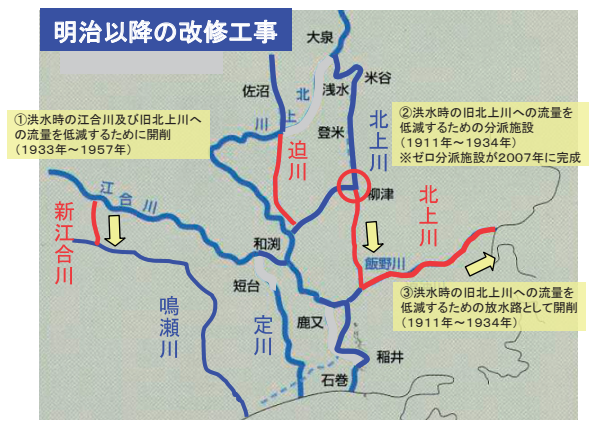
3. 北上川の河川改修

北上川は、伊達政宗の命を受けた川村孫兵衛らによる河川改修が行われており、北上川本川、旧迫川、江合川の三川を付替えた事業が有名です。

その後、明治以降の河川改修では、追波湾への放水路である新北上川の開削、上流江合川の鳴瀬分水など国の治水対策として経済集積地である石巻への洪水を集中させない方策がとられてきました。



江戸時代の改修工事



明治以降の改修工事



北上川第一期改修事業 (M44~S9)



新川開削当時の様子 (柳津～飯野川)

4. 東日本大震災による旧北上川河口部の被害状況

東日本大震災と津波により宮城県第2位の都市である石巻市は、被災自治体の中で最も甚大な人的被害を被りました。市の面積の13%に相当する7300haが津波で浸水し、市の中心部でもほと

んどが水没いたしました。

旧北上川河口部では、標高8.4mに達する津波痕跡が確認され、10m近い高さの津波が海岸や河川沿いを襲い、低平地奥地まで侵入いたしました。



旧北上川河口部の浸水状況

5. 旧北上川河口部の災害復旧事業

発災後から応急復旧、機能復旧を進めてまいりましたが、中心市街地沿川は、堤防未整備区間であったことから、明治三陸津波相当に耐えられるような堤防を概ね5カ年で整備することいたしました。

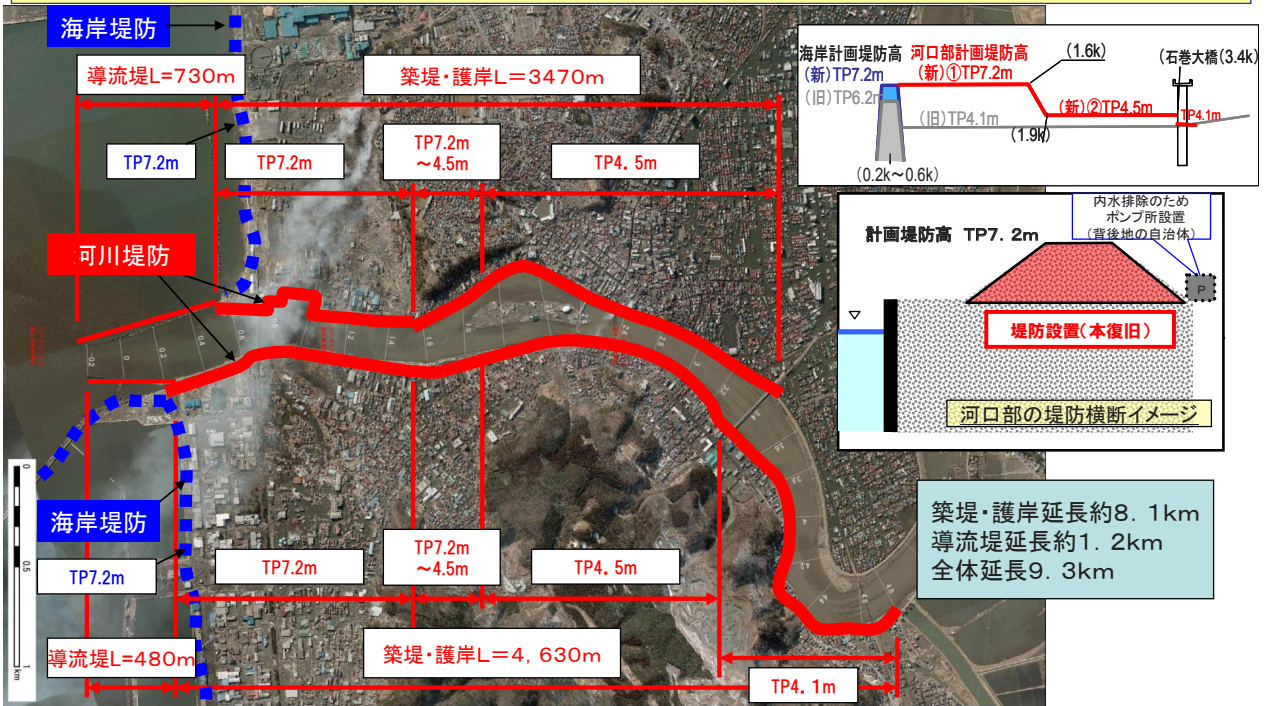
堤防高は、計画洪水、計画高潮、明治三陸津波のうち最も高くなる高さに対応して決められており、旧北上川河口部では海岸堤防と同じ標高 TP + 7.2 m、中心市街地では標高 TP + 4.5 m で計画いたしました。



旧北上川を遡上する津波

旧北上川 河口部堤防計画

- 河口部の河川堤防高は、海岸堤防高と整合を図りながら、洪水、高潮、津波（「施設画上的津波」）に対して必要とされる堤防高のうち最も高い堤防高を区間ごとに設定する。
- 「最大クラスの津波」については、津波防災まちづくり等と一体とした減災を目指す。



6. 旧北上川河口部堤防護岸復興着工式

国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所と石巻市の共催により「旧北上川河口部堤防護岸復興着工式」が平成25年1月27日（日）石巻市立湊小学校体育館を会場として開催いたしました。

着工式には、松下新平国土交通大臣政務官、地元選出国會議員、県・市議會議員、関係機関、地元町内会長をはじめ総勢約70名の方々にご出席

をいただきました。

式典では、震災犠牲者に黙祷を捧げた後、松下国土交通大臣政務官から「石巻市のか わまちづくり元年として全国にアピール出来るよう、一日も早い復興を果たしたい」と力強い挨拶をいただいた。石巻市の亀山市長は、「津波・高潮から市街地を守る堤防は生活再建に必要不可欠であり、川と一体となったまちづくりを進めたい」と挨拶されました。



国土交通大臣政務官挨拶



主催者・来賓による鍬入れ式



護岸の基礎石にメッセージを寄せていただきました



その後、来賓からの挨拶の後、佐藤克英北上川下流河川事務所長より「旧北上川河口部堤防護岸復興事業」、石巻市の星正俊震災復興部長より「石巻市の復興まちづくり」について事業説明が行われました。佐藤事務所長からは、「平成 27 年度の完成を目指し事業を進めたい」石巻市の星部長からは、「河川堤防を活かしたまちづくりを目指したい」との説明がありました。

地域を代表して、コンパクトシティいしのまき・まちなか創世協議会の浅野会長（石巻商工会議所会頭）より「石巻の良さを残しつつ、他の所にないすばらしい中心市街地を作っていきたい」と復興工事への期待を述べていただきました。

最後に、ご来賓の代表者及び松下国土交通大臣政務官、石巻市長、水管理・国土保全局長、東北地方整備局長らによる鍬入れを行い無事式典を終了することが出来ました。

式典終了後に、護岸基礎となる採石に寄せ書きコーナーに立ち寄っていただき、復興に寄せる

メッセージを書いていただきました。

7. おわりに

旧北上川河口部の堤防護岸の復興事業は、平成 27 年度の完成を目指し石巻市の復興まちづくりと連携を図りながら進めてまいります。さらに、事業の早期完成を目指し職員一同、地域の方のご理解をいただきながら復興事業を進めてまいりますので、これからも復興事業へのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



長安口ダム改造事業の概要

3. 長安口ダム改造事業の特徴

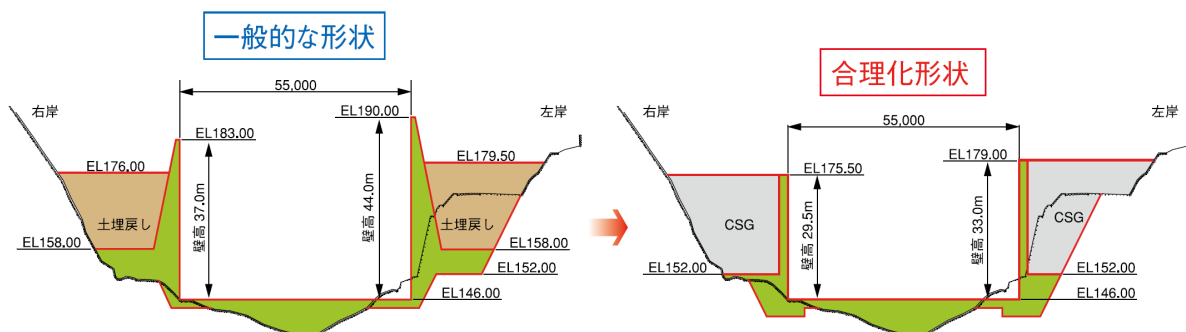
本改造事業では、既設洪水吐 6 門の右岸山側の既設堤体に高さ約 30m という大規模な切削を行い、幅 10m × 高さ 19.6m、幅 10m × 高さ 20.5m のクレストゲート 2 門を新設します。既設ダム本体の大規模切削としては、国内最大級の工事です。工事にあたっては、ダム下流の利水に影響を与えないように貯水位を保ったまま工事を実施する必要があります。従来の仮設方法では規模が大きく不経済となることから、新設する洪水吐きの予備ゲートを先行してダム堤体上流側に設置し、流水遮断（仮締切）を行った後に堤体を切削し、洪水吐きゲートを設置することとしています。今年度より堤体切削時の仮締切に着手していますが、施工においては約 30m の水深で高精度な施工が要求されます。

また、本改造事業では、減勢工の改造を行うこととしております。長安口ダムでは、ダム設計洪水流量が 9,200m³/s、計画最大放流量が 7,400m³/

s であり、他ダムと比較しても減勢工の対象流量が非常に大きい。減勢工の側壁高の設定にあたり、ダム設計洪水流量時の平均水位と計画最大放流量時の最高水位の高い側の水位をカバーする側壁高を検討した結果、約 44m の巨大な側壁が必要となるため、計画最大放流量時に一定程度の越水を許容する構造を検討し、側壁高さを約 30m に抑制する計画としました。



H25.1 時点の施工状況



減勢工の改造

4. 起工式

平成 25 年 1 月 26 日、長安口ダム貯水池に設置した仮設構台において、長安口ダム改造事業の起工式を開催しました。また、当日は、徳島県知事、地元選出の国会議員、那賀町長、阿南市長、地元関係者並びに工事関係者など約 110 名の方々の参加のもと執り行われました。

起工式は、四国地方整備局長の式辞で始まり、水管理・国土保全局長の挨拶、那賀川河川事務所長の工事概要説明、御来賓からの祝辞に引き続き、徳島県知事、地元選出国会議員、県議会議長、那賀町長、阿南市長など 19 名による、はつぐわ及びくす玉開披が行われ、事業の無事完了を祈念しました。

その後、上那賀町民グラウンドにおいて、地元阿南市、那賀町からなる「那賀川改修・長安口ダム改造促進期成同盟会」の主催によるもち投げが行われ約 150 名の参加者で賑わいました。



貯水池に設置した仮設構台上での起工式

5. おわりに

地元関係者の皆様、関係機関の皆様をはじめ、関係の方々の多大なるご支援とご協力を賜り、本年度より予備ゲート設備の設置工事に着手することとなり、この度起工式を迎えることが出来ました。厚く御礼申し上げます。

今後は、環境の保全、工事の安全に十分に配慮しつつコスト縮減に努め、先進的な技術の蓄積を行いながら、平成 30 年度完成を目指して、事業を推進していく所存でございます。引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



足立 水管理・国土保全局長の挨拶



はつぐわ、くす玉開披



飯泉 徳島県知事の祝辞

いずれの写真も OB の伊藤様から提供



茨城県 袋田の滝



茨城県 五浦六角堂



富山県 雨晴海岸

〈全水連だより〉

通常総会の開催日が変更となりました。HPの行事予定（スケジュール）をご覧ください。

全水連の行事予定をHPに掲載しておりますが、諸般の都合により変更となる場合がありますので、会員の皆様は定期的に確認をお願いいたします。通常総会の他にも今後一部変更となる事が予想されますので必ずお願いいたします。

会員登録についてのお願いでございますが、担当者の皆様が必ずしも会員当録されておる状況ではありません。機関誌「治水」には一種正会員の都道府県や、二種正会員の市町村や地方組織の方々から積極的に協力を得て、各地方の行事やニュースを寄稿して頂いており、写真や資料を併せて掲載させて頂いております。HPには過去12年間に発行した「治水」を掲載しておりますので、HPをご覧くださいませようをお願いいたします。

また、下部組織の事務所等が会員登録されますと、郵便で配送する手間も費用もかかりませんので、各事務所等（複数の職員も）が会員登録されますことをお勧めいたします。

現在も国交省の事務所や各県の河川課やOBの皆様から寄稿を頂いておりますが、会員相互の情報の交換コーナーとして積極的にご利用頂けますよう、皆様のさらなる会員登録とご協力をお願いいたします。

今後予定されている当連合会の、「通常総会」、「各地方の治水大会」、「治水事業促進全国大会」へは、多くの会員の皆様のご参加を頂きますようお願い申し上げます。

全国治水期成同盟会連合会事務局長 下川

zensuiren@k2.dion.ne.jp

平成25年度 全水連行事予定
(平成25年2月13日現在)

国治水期成同盟会連合会

平成25年度の通常総会の開催日が、諸般の都合により変更となりました。

- ・ 5月31日(金)から5月27日(月)
- ・ 場所に変更ありません。(シェーンバッハ・サボー：砂防会館別館)
- ・ 詳細は決まりましたら正式にご案内いたします。

平成25年度 全水連行事予定(平成25年2月13日現在)

変更する場合がありますので：行事予定（スケジュール）：をご覧ください。

4月24日(水)	全水連春季理事会	麴町会館
5月27日(月)	第65回全水連総会	砂防会館
10月10日(木)	全水連秋季理事会	麴町会館
10月25日(金)	四国地方治水大会	松山市
10月29日(火)	九州地方治水大会	長崎市
11月 1日(金)	東北地方治水大会	青森市
11月 5日(火)	中国地方治水大会	岡山県
11月 8日(金)	近畿地方治水大会	奈良市
11月11日(月)	中部地方治水大会	岐阜市
11月29日(金)	治水事業促進全国大会	砂防会館別館